

「話す」とき「書く」ときに共通すること

曖昧な伝え方はしない

遠回しな表現や、聞いた人の判断にゆだねる言い方は、外国人のみなさんにとって大変わかりにくいです。聞いた人が適切に行動できるよう、なるべく明確な伝え方をしてください。

私たちの「あたりまえ」を「あたりまえ」にしない

日本と異なる制度や文化背景を持つ国から来た人にとって、日本に長く住んでいる人たちが「あたりまえ」としていることが「あたりまえ」ではないことが多くあります。「これは外国から来た人にわかるかな？」という点を気に留めておくと、親切的な情報提供につながります。

「やさしい日本語」の言い方、書き方に正解はない

「やさしい日本語」は「相手の状況に応じた配慮」であるため、相手によって伝え方はさまざまです。ですので、言い方や書き方に正解はありません。

「やさしい日本語」は情報を伝えるための手段です。「やさしい日本語」は、一方的な言葉ではありません。「やさしい日本語」には正解もありません。(出身：台湾)

私たちは、日本の人々と話したいので、使う日本語が完璧かそうでないかは問題ではありません。交流できたことは最高の思い出です。(北海道美唄市の留学生)



私たちは、国際都市横浜の歴史的・文化的特性を継承しつつ、異なる文化や価値観をともに認め、尊重し合える豊かな社会づくりを目指します。
—YOKEミッションステートメント—



<https://www.yokeweb.com/>

公益財団法人 横浜市国際交流協会
YOKOHAMA ASSOCIATION FOR INTERNATIONAL COMMUNICATIONS AND EXCHANGES (YOKE)

参考情報・ツール

在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン

出入国在留管理庁・文化庁

https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/plainjapanese_guideline.html



やさしい日本語での情報発信について

横浜市

<https://www.city.yokohama.lg.jp/lang/residents/ej/daiji/kijun.html>



NHKやさしいことばニュース

NHK

<https://www.nhk.jp/p/rs/34PY344RPJ/>



やさになちチェッカー ver.0.26

やさしい日本語科研グループ

<http://www.4414uj.sakura.ne.jp/Yasanichi1/nsindan/>



※2025年9月末現在の情報です。

外国人のみなさんと「やさしい日本語」でコミュニケーション 第1版
発行：公益財団法人横浜市国際交流協会
2025年10月



外国人のみなさんと

「やさしい日本語」

でコミュニケーション



「やさしい日本語」はどんな言葉？

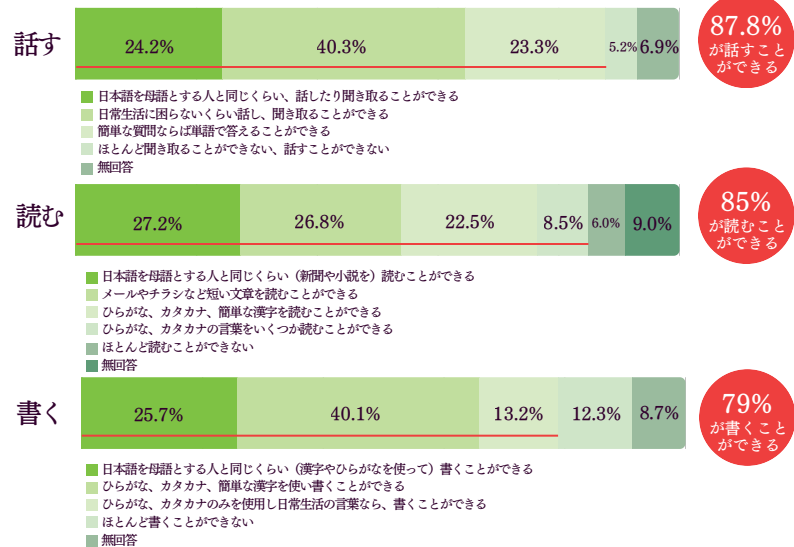
「やさしい日本語」の「やさしい」には、「優しい」と「易しい」の2つの意味が込められています。「やさしい日本語」は、漢語などの難しい言葉を和語に変える、長い文章や言い方を短く、明確にするなど、**相手に配慮したわかりやすい日本語**のことです。

「やさしい日本語」が必要な背景

横浜市には、さまざまな国・地域から来た外国人のみなさんが多く住んでいます。その人の母語で対応しようとする場合は対応できる人が限られます。「やさしい日本語」を活用することで、多くの人が困っている外国人のみなさんの支援者となれます。また、外国人のみなさんも安心して日本語を使うことができる環境につながります。

在住外国人に「やさしい日本語」は通じる？

在住外国人のみなさんの多くが、日本語を「話す」「読む」「書く」ことができます。

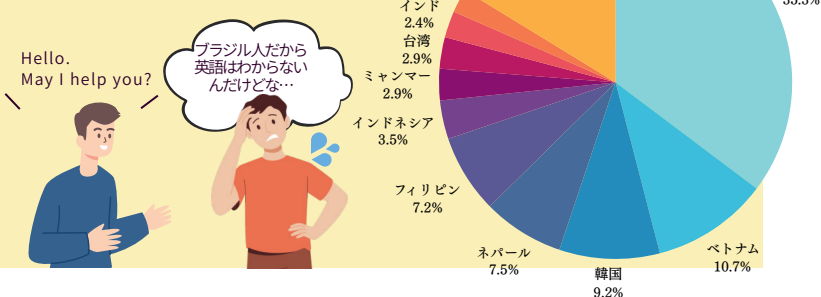


参考：令和6年度横浜市外国人意識調査P18

外国人のみなさんに会ったら何語で話しかけますか？

横浜に住んでいる外国人のみなさんの出身国・地域のうち、在住人数が多い順で5つの国・地域は中国、ベトナム、韓国、ネパール、フィリピンです。この5つの国・地域で外国人人口全体の約70%を占めています。

在住外国人のみなさんへ声をかけるときは、まず「やさしい日本語」を使ってみましょう。

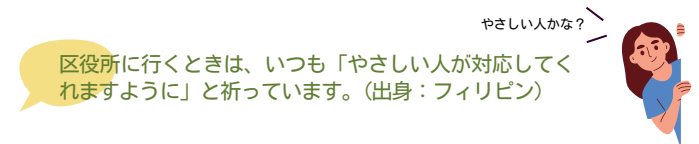


令和7年9月末現在の外国人人口 出身国・地域での割合 参考：横浜市ポータルサイト

「やさしい日本語」で話すときの工夫

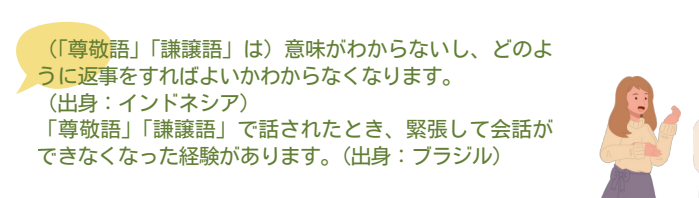
話しやすい環境づくり

外国人のみなさんの中には、日本語で話すときに緊張する人もいます。緊張すると、言いたいことが言えなくなってしまうかもしれません。「あなたの話をゆっくり聞きます」「あなたはゆっくり話してよいです」という気持ちが伝わると、外国人のみなさんが安心して話をするができます。



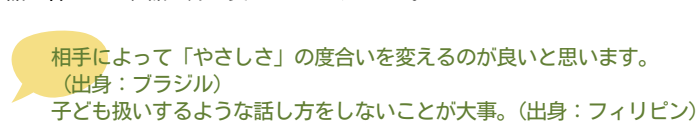
尊敬語、謙譲語を使わない

尊敬語、謙譲語は外国人のみなさんにとって難しい言葉です。外国人のみなさんと話すときは、尊敬語と謙譲語を使わず丁寧語（「です」「ます」）で対応してください。



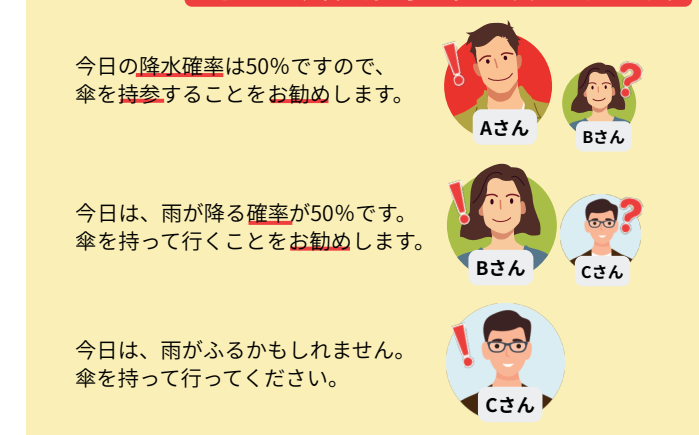
相手はどのくらい日本語がわかる人？

外国人のみなさんと少し話してみると、その人がどのくらい日本語を話すことができます、または聞くことができる人かがわかります。その人が話す日本語に合わせて、話し方を変えてみてください。



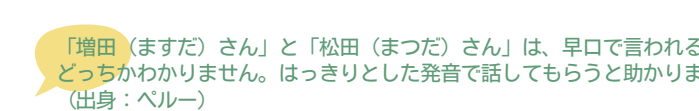
「伝わりにくかったかな？」

と思ったら、言い方を少しずつ工夫してみましょう



短く、はっきり話す

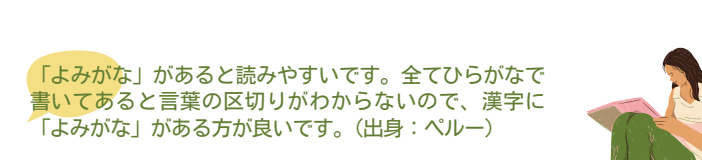
1回に話す長さを短くし、はっきりとした発音で話すことで外国人のみなさんにとってわかりやすくなります。話した後に「わかりましたか？」と確認してください。



「やさしい日本語」で書くときの工夫

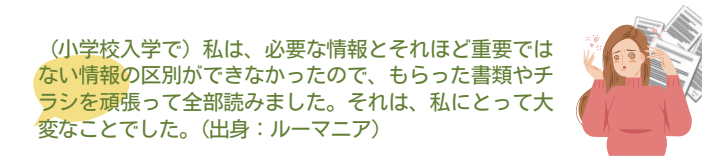
漢字は「よみがな」をふる

漢字に「よみがな」があることで、外国人のみなさんにとって読みやすくなります。また、「よみがな」があることで難しい用語を自分で調べることができます。「よみがな」は、ひらがなを使ってください。



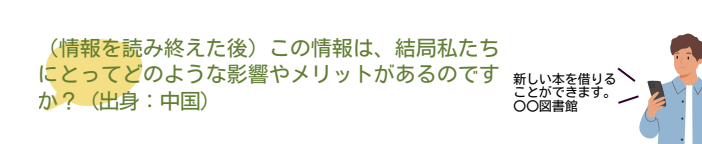
一文を短く、明確に

複数の情報が入っている長い文章は、外国人のみなさんにとってわかりにくくなります。一文に伝えたい内容を1つにするとわかりやすくなります。無くても問題ない情報は入れないことも大切です。



読む人にとってメリットが感じられる内容で

「情報提供者が〇〇する」ではなく、「情報を見た人が〇〇できる」情報提供は外国人のみなさんに見てもらいやすくなります。



イラストや写真があるとわかりやすい

具体的なイラストや写真を使うことは、外国人のみなさんにとってわかりやすい情報伝達の方法です。



災害時の言葉はむずかしい

災害が起きた時に使われる「避難」「高台」「現在、公共交通機関は不通」などの言葉は、平时に使われる機会が少ないため、外国人のみなさんにとって馴染みが少ない言葉です。そのため、災害が起きた時の混乱の中でこれらの言葉を理解することは困難となります。災害が起きた時は「すぐに逃げてください」「高い場所に逃げてください」「今、バスと電車は使えません」などの言い方に変えることで理解しやすくなり、外国人のみなさんの安全につながります。

